

川の自然調べ2012冬 実施報告

[戻る](#)

1. 日時：2012年12月23日（日）8:00～12:30 曇り
2. 調査地点：（目久尻川）久保田橋～相模川合流点まで4区間
（小出川）大曲橋～追出橋までの4区間
3. 調査方法：
（1）川の自然調べ：歩きながら川の生物を会員の目視で確認
4. 参加者：川の自然調べ・エコネット会員4名
5. 調査結果

（1）川の自然調べ

①目久尻川

・アオサギ(5)、アオジ(2)、イソシギ(1)、カルガモ(166)、カワウ(6)、カワセミ(2)、カワラヒワ(46)、キジバト(45)、コガモ(60)、シジョウビタキ(1)、ダイサギ(2)、トビ(8)、ハクセキレイ(12)、ヒドリガモ(2)、ヒヨドリ(60)、ホオジロ(7)、マガモ(4)、メジロ(1)、モズ(1)、チョウゲンボウ(1)、スズメ(23)、ムクドリ(237)、ハシボソガラス(7)、ハシブトガラス(19)、オオバン(1)
野鳥種類(25種)、野鳥個体(720羽)

・その他⇒カメ(1)

②小出川

・鳥類⇒アオサギ(5)、アオジ(2)、イソシギ(3)、カルガモ(47)、カワウ(20)、カワセミ(1)、カワラヒワ(13)、キジバト(34)、コガモ(93)、コサギ(7)、ダイサギ(1)、トビ(2)、ハクセキレイ(11)、バン(5)、ヒドリガモ(5)、ヒヨドリ(12)、ホオジロ(10)、マガモ(3)、モズ(4)、チョウゲンボウ(1)、スズメ(73)、オナガ(10)、ムクドリ(89)、ハシボソガラス(4)、ハシブトガラス(5)
野鳥種類(25種)、野鳥個体(460羽)

例年に比べ野鳥個体数が大幅に増加し、特に小出川は2倍近い個体が観察されました。河川改修が終わった区間に着実に鳥が戻っていることが推察されますが、目久尻川でも個体数が増えていることを考えると、河川の浄化や自然環境の復活も寄与しているのではと期待されます。

写真1：マガモ、カルガモ（目久尻川・リサイクルセンター付近）



写真2：カワラヒワ（目久尻川・リサイクルセンター付近）

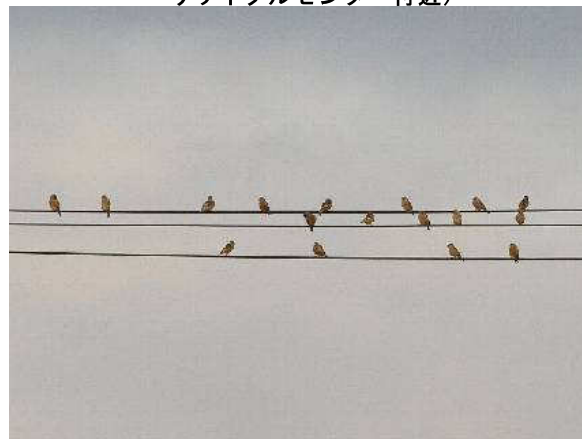


写真3：粗大ごみの投棄（目久尻川・旭橋付近）



写真4：チョウゲンボウを追いかけるカラス（目久尻川・上合橋付近）



写真5：ジョウビタキ（目久尻川・鷹匠橋下流）



写真6：ダイサギ（目久尻川・鷹匠橋下流）





写真⑦：オオバン（目久尻川・鷹匠橋下流）



写真 8：コガモ（小出川・大曲橋上流）



写真 9：イソシギ（小出川・鷹匠橋上流）



写真 10：バン（小出川・鷹匠橋上流）



写真 11：モズ（小出川・鷹匠橋付近）



写真 12：コサギ、ダイサギ、アオサギ
（小出川・寺尾橋付近）

